

歴代会長

| | | | | | |
|----|--------|----|-------|----|--------|
| 初代 | 矢島 尚吉 | 4代 | 矢島 俊之 | 7代 | 多田野 利男 |
| 2代 | 和田 金太郎 | 5代 | 藤田 孝男 | 8代 | 小林 武夫 |
| 3代 | 田嶋 亀造 | 6代 | 矢嶋 一敏 | 9代 | 小田原 勇 |

町会について

東中野四丁目町会は、東中野駅北口沿い側から早稲田通りまでの地域に位置づけられます。この地域の人口は、平成28年6月現在24,058人であり、中野区内の町会の中でも上位にあるとみられます。人口は、10年前に比べると、3割近く増加しておりますが、ワンルームマンション、アパートの増加を反映してか単独所帯が約6割であります。地理的にJR・大江戸線東中野駅、東西線落合駅に囲まれ交通の便利さから、都心中央へのアクセスの良さが単独所帯の人気に繋がっているものと思います。

東中野の歴史については、古代、戦国時代を通じ特筆するものはあまり見当たらず、江戸時代までの古地図を見ると、畑や神田川沿いの水田が散見されますが、将軍が鷹狩をしたという記録も残されていることから、広い範囲に原野が広がっていたものと想像されます。東中野が急速に近代化の歩みを始めたのは、明治22年4月に開通した甲武鉄道（現JR）の開通によるものとみられます。当時の東中野駅は現在の位置よりやや新宿寄りにあったようです。桐ヶ谷口、昭和10年に住吉口そして西口が設置され、周辺に商店街が形成されました。商店街は、東側に東中野本通り共栄会、西側に東中野駅前商和会があり、両商店街に挟まれて東中野飲食店街があります。東中野飲食店街は、再開発の動きがあり、やや虫食い状態になってしまいました。近年「ムーンロード」と呼称され、往時の面影をとどめています。

次に町会の歴史に触れます。町会の起源は、江戸時代に住民の自治組織であった5人組や名主・年寄制度に遡るようです。その流れを引き、明治の新制度で、字を単位とした氏神を中心とした精神的つながりに基づく、地域の秩序を守ることを目的として自治的に運営するようになったようです。戦時中は、国より行政的下部組織とされるようになりましたが、戦後、GHQの方針により解散させられました。その後、昭和28年4月に復活して、「住吉会」として設立されました。以後、「東中野4丁目」と名称も変わり現在、第9代目町会長に引き継がれております。

時代の変遷とともに、町会の在り方も変わってゆくものと思います。もちろん町会にできることは限られており、行政はじめ多様な専門的組織が対応するしかないことも多いですが、子供や高齢者の生活を支え、さらには災害時の不幸を減らすためにも向こう三軒両隣や町会が果たす役割は他のどんな組織も変わることができないと思います。人は支えあって生きてゆく仲間です。参加することで安心感がわいてくるような確かな近隣社会を作ってゆきたいと思っています。

